

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	倉敷市バス専用駐車場
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市中央2丁目6-1 名称 倉敷観光コンベンションビューロー・クラレテクノ共同事業体 代表者 公益社団法人 倉敷観光コンベンションビューロー 会長 藤原 秀則
(3) 公の施設の所管部署	倉敷市文化産業局文化観光部観光課
(4) 評価対象期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

2 総合評価結果

(1) 市の評価	<p>今年度は「利用者増加に向けた取り組み」に重点を置き、評価を行った。利用者について、前年度比98.6%とほぼ横ばいではあったが、インバウンド利用が123.7%と大幅に増加していた。観光客の窓口としての役割をバス専用駐車場には期待しており、場内の清掃にも積極的に取り組んでいたことが窺え、利用者のアンケートにおいて、「全体の満足度」については100%の満足度(満足・ほぼ満足)が得られていたことから、安定した施設の運営が行われていることが伺える。今後、営業時間が延長されることにより、利用者の増加に繋がっていくと考えられる。</p>	総合評価
		S
(2) 指定管理者の自己評価	<p>バスのお客様、一般歩行者の安全、安心を最優先に運営し、警備業務、トイレ等場内設備の清掃・修繕等を適切に行い、快適なご利用をいただいております。</p> <p>料金所においては、ビューロー発行の観光マップの配布など、着地観光のおもてなし、各種情報提供に努めました。</p> <p>また周辺の宿泊施設を利用するバスの夜間等の時間外入庫の利便を図るための時間外の対応や、満車時には当団体の持つネットワークを活かし他民間事業者の駐車場をご案内するなど、利用者の利便確保、周辺交通の渋滞緩和などに配慮しながら運</p>	

	<p>営をしました。</p> <p>一方、利用実績につきましては、新型コロナウイルス禍以降、旅行の形態が変化し団体旅行の減少などもありましたが、インバウンドの伸長などもあり、令和6年度につきましては前年比98.6%の8,943台、コロナ禍前の令和元年度比94.5%と堅調に推移しました。運営主体である倉敷観光コンベンションビューローによる旅行会社へのセールスなど、積極的な観光情報の発信にも努めました。</p> <p>また最も重要であると考えております利用者の事故・怪我の発生について、警備員の研修を適切に実施するなど皆無であり、適切な管理運営ができたものと考えます。</p>
(3) アンケート結果の概要	<p>「全体の満足度」は、100%の満足度（満足・ほぼ満足）が得られており、非常に高い水準を維持している。</p> <p>また、管理運営に関するその他の項目（「職員の対応」「施設の清潔感」「安全対策」）についても、いずれも98%以上の満足度が得られており、質の高いサービスを提供できていることが窺えた。</p>

3 施設の利用状況

(1) 利用実績	バス専用駐車場駐車台数			
	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和元年度
	8,934台	9,059台	5,738台	9,453台
(2) 事業の内容	うちインバウンド利用			
	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和元年度
	3,342台	2,700台	619台	2,488台
(2) 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・バス駐車場料金の徴収 ・安全確保のための警備の実施 ・飲料水自動販売機の設置等 			

4 収支

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	18,264千円
	バス駐車場料金収入	16,228千円
	バス駐車場自主事業収入	2,031千円
	受取利息	5千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	19,763千円
	給料手当	720千円
	通信運搬費	30千円
	消耗品費	248千円
	修繕費	142千円
	光熱水料費	1,214千円
	手数料	12千円
	保険料	47千円
	支払負担金	66千円
	人件費	11,160千円
委託料	1,875千円	
事務経費 (管理費)	4,249千円	